

5) 補強された路床の偏心荷重平板載荷試験 (アメリカ)

セッションN: 補強土2-盛土と斜面 (発表論文5編)

1) ジオテキスタイルによる補強盛土の発展 (アメリカ)

2) 有限厚さの軟弱地盤上の盛土の安定 (アメリカ)

3) 受働引き抜き抵抗に影響する要因 (韓国)

4) 補強盛土の新しい設計法 (フランス)

5) ポリプロピレン帯の境界面摩擦 (アルジェリア)

セッションO: 補強土3-擁壁 (発表論文6編)

1) ジオシンセティックで補強した土構造物の設計法 (アメリカ)

2) ジオテキスタイルで補強された二つの実物大構造物 (フランス)

3) ジオグリッドで補強された擁壁の有限要素解析 (カナダ)

4) 補強土安定解析のプログラム (アメリカ)

5) 異なった工法により建設された補強擁壁の挙動 (イギリス)

6) 石灰処理粘土を用いた補強擁壁の遠心模型実験 (アメリカ)

セッションP: 掘削土の安定処理 (発表論文7編)

セッションQ: 地盤の改良と環境地盤工学 (発表論文7編)

上記のように、本会議では多岐にわたる地盤改良・補強土技術に関する論文が発表された。中でも補強土関係について3セッションが設けられ、活発な討論がなされたことから、この分野に強い関心が寄せられているとの印象を受けた。各論文の詳細については、"GROUTING, SOIL IMPROVEMENT AND GEOSYNTHETICS VOLUME2" Geotechnical Special Publicationを参照されたい。

#### 福岡教授に土木学会功績賞

IGS 日本支部長・福岡正巳教授の永年にわたる、土木工学、建設技術、並びに土木学会に対する傑出した貢献と業績とを表彰し、平成3年度の功績賞が贈られた。1992年5月28日、土木学会の総会において、岩佐義朗・前土木学会会長より福岡教授(写真:左)に功績賞の賞状と記念品が贈呈された。(東洋大学工学部 赤木俊允)

